

# Dogama 能登の珪藻土

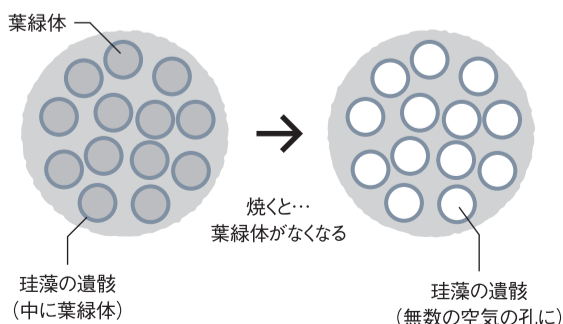
珪藻土は、植物性プランクトンの遺殻が化石となり、数千万年かけてできた堆積岩です。能登半島の約3/4がこの珪藻土でできており、その埋蔵量は日本一。能登産の珪藻土は多孔性と粘土が適度に含まれ成型がしやすく、古くから七輪・コンロの材料として活用されています。



## 「珪藻土がすごいのは、なぜ？」

### 空気の孔ができる

焼成することにより、珪藻が取り入れていた葉緑体が燃えてなくなり、無数の孔をもつ珪藻の遺骸が残ります。



### 自然界のハイテク素材

珪藻土の無数の空気孔が、断熱性、保湿性、調湿性、吸収性、吸着性、脱臭性、遮音性に優れた機能を発揮。さらに主成分が珪酸のため、高い耐火性もあります。多機能かつ安心できる自然素材として、古くからさまざまな分野で活用されています。

- だから
- 七輪・コンロ
  - 窯業原料
  - 土木工事
  - 公園・ゴルフ場など 土壤改良材
  - 吸放湿する壁材 エコ建材
  - さまざまな分野で
  - 生ビール製造など ろ過助剤
  - 製鉄所の高炉など 耐火断熱レンガ
  - 道路のカーブミラー
  - 輪島塗りの下地

### + 能登珪藻土の除染作用

能登の珪藻土で放射性物質に汚染された農地を再生できるかもしれない。そんな取り組みが田崎和江金大名教授の研究のもと、能登珪藻土研究会で進められています。実験では放射性物質量を減らすことが確認されています。

